

2024 年 6 月 24 日

報道関係者各位

フクシマガリレイ株式会社

フクシマガリレイ

福岡県でのビーチ・リバークリーン活動実施

フクシマガリレイ株式会社(本社：大阪市西淀川区、代表取締役 社長執行役員 福島 豪)は、福岡県にて 2024 年 6 月 2 日(土)に岩屋海水浴場、同年 6 月 15 日(土)に芥屋海水浴場にてビーチクリーン活動を実施、同年 6 月 8 日(土)筑後川河川敷(合川地区)でリバークリーン活動を実施いたしました。3 日間合わせて当社・グループ会社社員及びその家族合わせ 68 名が参加いたしました。今後も継続して全国の自然環境保全活動に取り組み、生物多様性保全に貢献すべく取り組んでまいります。



↑ 芥屋海水浴場での集合写真

1. 活動報告

①岩屋海水浴場

活動実施日：2024 年 6 月 2 日(土)

活動場所：岩屋海水浴場(福岡県北九州市若松区有毛)

参加人数：11 名 (グループ社員とご家族含む)+お取引先様 1 名

主催：NPO 法人 われら海岸探偵団

ゴミ回収量：約 135 リットル(当社社員回収量) <本活動参加者総勢 88 名では 1,182kg 回収>

②筑後川河川敷(合川地区)

活動実施日：2024 年 6 月 8 日(土)

活動場所：筑後川河川敷(合川地区)(福岡県久留米市新合川 1 丁目)

参加人数：4 名

主催：Good News(国土交通省指定の「河川協力団体」)

ゴミ回収量：約 120 リットル(当社社員回収量)

③芥屋海水浴場

活動実施日：2024 年 6 月 15 日(土)

活動場所：芥屋海水浴場（福岡県志摩芥屋）

参加人数：53 名（グループ社員とそこご家族含む）

ゴミ回収量：約 400 リットル

2. 参加者コメント

「海洋汚染で問題になっているマイクロプラスチックになる手前のごみが多くみられ、大前提で捨てない事はもちろん、定期的に拾って深刻な汚染に繋げない活動が重要と感じました。」

「子供(次男)と一緒に参加して、ペットボトルや小さなプラスチックなど、日常の生活から出るごみが多く、ゴミを拾いながら次男に、このゴミを魚や鳥などが食べて死んでしまうと伝えたと、ゴミはゴミ箱に捨てないといけないよねと話していました。

帰宅後、次男が長男にその話をしており、父からするととても頼もしく思いました。」



↑ 芥屋海水浴場での集合写真



↑ 芥屋海水浴場での活動写真



↑ 筑後川河川敷での集合写真



↑ 筑後川河川敷での活動写真



↑ 芥屋海水浴場での活動写真



↑ 芥屋海水浴場での活動写真

3. 活動目的

フクシマガリレイはサステナブルビジョン「Dramatic Future 2050」

(<https://www.galilei.co.jp/sustainable/>) を策定し、温室効果ガスの排出量実質ゼロに挑戦しております。そのアイコンとして多くの炭素を体内に蓄えることで地球温暖化抑制に貢献するクジラを採用しています。そのクジラを守りたい、そしてそれを育む海を守りたいとの思いよりビーチクリーン活動をスタートし、2023 年度より全国で海岸の自然環境保全活動を開始しました。

今後もビーチクリーン活動を通して、全社で脱炭素社会の実現及び社会貢献、そして生物多様性保全に努めてまいります。

お問い合わせ先 フクシマガリレイ株式会社（担当：経営企画部 経営企画課）

〒555-0011 大阪市西淀川区竹島 2-6-18 TEL：06-6477-2011 FAX：06-6477-0755

URL：<https://www.galilei.co.jp/>